



おもしろ  
御神輿がひとこえ叫ぶ。「I AM FREE!」。ロックフェス制作は神輿担ぎと似ている。  
神輿が意思を持って行き先を決めるのだ。そこで人々がこう云う。  
「神様は何にも食べなくても生きられるけど、我々はたまには食わなければ生きられません。なんとかしてくださいな。」  
「OK。では頑張って人を楽しませ、後は人の気持ちにゆだねるのじゃ〜。」というわけで、  
今年の京浜ロックはカンパ制、つまり投げ銭スタイルにおおつきました。来年はそうは行かないでしょうが、  
今年は大判振る舞い。フェス史上始めて以来の濃い内容とかゆいところに手が届く人選。  
万障お繰り合わせの上、おでかけください。2010年、10月10日にお会いしましょう。

総合プロデューサー 久保田麻琴

## あがた森魚

北海道釧路生まれ。1972年「赤色エレジー」でデビュー。大正や昭和のロマンチックな大衆文化を独自のフィルターを通して「乙女の夢夢」「増無情」「日本少年」などを発表。80年代以降も、ニューウェーブやタンゴアルバム、ワールド系などに、あがた森魚独特の世界観を貫きつづけてきた。21世紀にはいると久保田麻琴制作の「佐藤敬子先生はザンコな人ですけれど」、「タルボロジー」を発表、2008年の全国67カ所にも及ぶ巡回ライブツアー、2009年に九段会館で開催された「Zipang Boyz 戦一夜」など、勢いはいよいよ加速し、ドキュメンタリー映画「あがた森魚やテラックス」も発表した。



## 清水宏

舞台を中心に役者としても大活躍中、二度の日比谷野音ファンマンを大成功させたやまのあつた男・清水宏。スタンダップ・コメディアンとしてはカルト的な人気を誇り、舞台以外にも笑いライブ、ラジオのパーソナリティに声優まで幅広くこなす実力派コメディアン。エネルギー、時としてアバンギャルドなパフォーマンスは、まさに One & Only、唯一無二!



## 東京天水連

阿波踊りの基本と伝統を守りつつ、結成以来、常に「自分達の理想の阿波踊り」を求めつづけて、日々阿波おどりを取り組んできた。結成25周年の今日まで熱い想いに一点のかけりもない。軽快に舞う女踊りはその指先から足先まで気持ちを込めて。粋な男踊りは元気と豪快さが売り物。各々の個性と一体感を演出するお囃子はチームワークが身上。阿波踊り独特の二種類のリズムを自在に奏でる。ブラジル音楽並の深いグルーブと、ロックバンド以上の爆音には誰もが身体と心を探り動かされるはずだ。



## オニ (ex. あふりらんぼ)

天然アシッド感溢れる、フォークでソウルフルな唄、童謡のように優しく包み込む唄声…さまざまな様子の唄達をアコースティックギター一本で歌い上げる大阪の女やさか! 今日あふりらんぼ! 響かす〜!!  
1983年大阪生まれ育ち、一児の母。2001年、ピカチュウと女2人のロックデュオ、あふりらんぼを結成。欧米や国内全国ツアー、ソニックユースの日本&EU ツアーのオープニングを務めるなど、多くのライブを行う。2004年、アフリカのカメルーンの森の奥地でピグミーのバカ族と1ヶ月半原住民生活を。2009年、ソロとしては初のフジロックフェスティバル出演。2010年4月に待望のファーストアルバム「SUNWAVE HEART」をリリース!!!



## スカンク兄弟と原田郁子

### スカンク兄弟

2006年結成。これまでに久保田麻琴や原田郁子(クラムボン)の協力を得て、1stアルバム「あこがれ」、ライブアルバム「スカンク兄弟の夕べ」、2ndアルバム「セコンド」をリリース。『子供から、大人まで楽しめる歌。』として幅広い層から支持を得ている。



### 原田郁子

1975年福岡生まれ。クラムボンのヴォーカル&キーボード。バンド活動と並行してソロ活動も行う他、様々なミュージシャンの楽曲やライブへの参加、作詞や執筆、CM歌唱、舞台など活動は多岐に渡る。今年は、クラムボンの8枚目のオリジナルアルバム「2010」がリリースされたばかり。9月5日にはまよひラジオオープニングショー EASTにてライブが決定している。  
(clambbon web site) <http://www.clambbon.com>



## 越路姉妹

港町横浜で結成され「唄と笑いの花束を」をテーマに心を唄う港町横浜は福富町にて結成されたバンド。越路よう子と越路和子は遠慮のない姉妹。越路よう子の経営する野毛のスタジオ「吹雪」の常連客である探偵家のマイクブラック嬢が、昔ドラムをやっていたと言って加入。ついでにその秘書、マダムヤンも加入。そして、和子が所属する「ヘビメタ同好会」の副会長である越路太郎がベースとして参加、気がついたらバンドになっていた。出身：横浜、野毛〜福富町エリア 2009年、久保田麻琴プロデュースのデビューアルバム「混浴」を発表、新宿タワーレコード・インディーズ・チャートで堂々の一位獲得。



## SAKEROCK

2000年結成。メンバーは星野源(ギター、マリンバ、etc)、田中賢(ベース etc)、伊藤大地(ドラムス)、浜野謙太(トロンボーン)の4人。様々な音楽的要素と無駄な感覚を多分に含んだストレート・インストゥルメンタル・グループ。これまでに3枚のオリジナルアルバム、5枚のDVD作品、ミニアルバムやシングルもリリースしている。舞台音楽、CM音楽、映画音楽なども幅広くこなし、各メンバーごとの活動も多岐にわたっている。冬には新作アルバムをリリース予定の素敵な4人組である。



## 東京ローカル・ホンク & 鈴木茂

(スペシャルゲスト)

### 東京ローカル・ホンク

1994年元頭にうずまきとして誕生、2001年夏に東京ローカル・ホンクに改名した。ユニークな歌詞とシンパシーなメロディー、複雑な和声と潤ったアレンジが通を虜にさせ、子供を虜にする。4枚のアルバムを発表し、その音楽性は忌野清志郎、鈴木茂からも高い評価を受ける。交流も積極的で、久保田麻琴、あがた森魚などのアルバムへの参加を果たしている。そして、9月17日にはホンクが全面的にバックを務めた友部正人の新作「クレーン」(TM-015)、そして2008年制作「いきものについて」の久保田麻琴によるリマスター盤がリリースされる。



### 鈴木茂

1970年アルバム「はっぴいえんど」をリリース。1974年、L.A.にてソロアルバム「BANDWAGON」を完成させ、帰国後鈴木茂&ハックルバックを結成、<テンパンアンパイ>のメンバーとしても活動。ソロとしても7枚のアルバムを発表。現在は、LIVE活動、スタジオワーク、プロデューサーのほか自身でエフェクター類の製作販売も行っている。  
(official web site) <http://www.suzuki-shigeru.com/>



## トクマルシューゴ

東京都出身。2004年のデビュー以来、これまでに4枚のフル・アルバムを発表。無数の楽器・非楽器を駆使し、作詞、作曲、アレンジ、レコーディング、ミキシングまでを自身で手掛ける。2010年4月に最新作「Port Entropy」をリリース。NHK「トップランナー」に出演。日本語詞による独自のポップスを追求しながらも、アメリカ・ヨーロッパ・アジアツアーも行い多くのフェスに出演するなど、世界で注目を集める若手アーティストのひとりとなる。  
(web site) <http://www.shugotokumarum.com>



## にせんねんもんたい

1999年結成。Gー高田、Bー在川、Dー絶野。東京を中心に活動。3ピースのギターロック・バンドでありながら、強烈なビートとトランシーな演奏で世界のフェスを虜にする。2006年に自主レーベル「美人レコード」創設。過去、多数アーティストとの共演、計7回のアメリカ、ヨーロッパツアーなど海外公演も多く、10月後半から再びヨーロッパツアー一挙行予定。



## ラキタ

1990年、NY生まれ。幼少を湘南で過ごし、沖縄に移り育つ。物心ついた時には、家族で旅しながら多くの場所に訪れ多彩な音に触れていく。まるでタイムマシンのごとく唄われる即興的な唄、ルーバーを駆使したトリッキーなギター、そしてユニークな作品群は、すでに東京のライブハウス・シーンで大きな注目を集めている。ファンクバンド「ズツズレズ」を結成。同年秋、アルバム「アム」リリース。



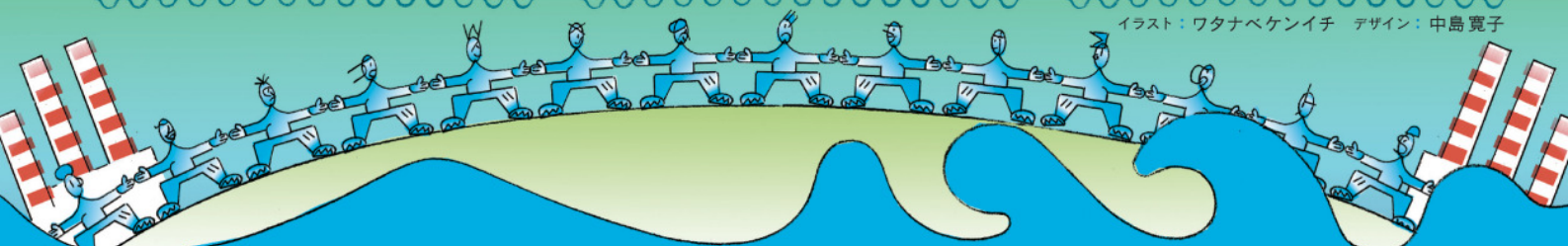
## シーナ & ロケッツ

結成31年、日本のロックシーンでも絶大な存在感を誇る。1978年、鮎川誠、シーナを中心に結成。鮎川の以前のグループ、サンハウスで培ったブルースロックの基盤に、パンクロックをミックスしたサウンドは、後のめいたロックの基本となり、多くのバンドに影響を与える。結成30周年を迎えた2008年には、オリジナルメンバー全員が再集。結成時のメンバーで奇跡的なツアーに出る。また、鮎川は映画、CMへの出演なども多く行なう。また鮎川はその音楽への愛情を書籍執筆という形で表現したり、シーナ、鮎川はラジオパーソナリティとしても活躍。



## 久保田麻琴 (総合プロデュース)

2008年、京浜ロックで30年ぶりの復活ライブを成功させた夕焼け楽団、それを率いるのが久保田麻琴。夕焼け楽団は後にザ・サンセットとして英国、オーストラリアでも絶賛された。また喜納昌吉の「ハイサイおじさん」は彼がカバーした事により一躍全国区に。現在はマエストロの名にふさわしいプロデュース活動を続けている。今回も前回に引き続き、全体の企画プロデュースにあたる。



イラスト：ワタナベケンイチ デザイン：中島寛子

- 注意:**
- ◆会場は海沿いのため、夜はかなりの冷え込みが予想されます。防寒対策は入念にご用意ください。去年までの経験から、ダウンジャケットなども大げさではないとわかってきました。
  - ◆会場には椅子のご用意はございません。地面は草原です。動物のご持参をお願いします。椅子などの持ち込みは可能ですが、周りのご迷惑にならないようお気をつけください。
  - ◆持ち込んだゴミは必ずお持ち帰りください。 ※必ずお願いします。履行されないようだと、来年以降会場が使えなくなります!
  - ◆飲食物の持ち込みはできません。入り口で手荷物チェックなどさせて頂く場合がございます。 ※お子様の飲み物、食事などやむを得ない場合は除きます。
  - ◆飲食費で運営を賄っております。ご協力いただきます様よろしくお願ひいたします。
  - ◆会場内にカメラ・ビデオカメラ等持込みは可能ですが、出演アーティストの撮影は禁止です。又、録音機器の場内への持込みは一切禁止です。
  - ◆会場内で発生した事故、盗難などは主催者は一切責任を負いません。貴重品などの管理は厳重にお願いします。
  - ◆駐車場の予約はできません。台数に限り(約500台)がございますので、なるべく公共の交通機関で来場ください。
  - ◆テント、パラソル、タープなどは持込できません。